



第25回がん放射線治療看護セミナー参加報告

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしですか。
 HIPRACから3名の看護師が【第25回がん放射線治療看護セミナー】に参加しました。

<テーマ>

頭頸部がんの放射線治療と看護—口腔から咽喉頭の粘膜炎—

頭頸部領域は、感覚・嚥下・発声に関わる器官が集中しており、形態や機能を温存できる治療が期待されています。

高精度放射線治療であるIMRT（強度変調放射線治療）は、腫瘍への投与線量を保ちつつ、周囲の正常組織への線量低減を図り、治療後のQOL（生活の質）の維持が期待できます。

放射線治療に携わる看護師は、副作用や不安などに予測的に対応し、最後まで治療を継続できるよう支援します。また、各医療機関と連携して、照射後のサポート体制を整える役割も担っています。治療中・治療後の生活や副作用の対処方法など不安な点があればいつでも相談してください。



全国から約200名の看護師が集まり、実際のケアについてディスカッションしました。

★HIPRAC受診には、放射線治療の適応と判断された上で、医療機関からの予約申込が必要です。
 また、入院設備がないため通院での治療になります。まずはかかりつけの主治医にご相談ください。

委員会紹介(感染管理ワーキング)

HIPRACでは、院内の様々な課題を解決するため、各種委員会・ワーキングを立ち上げています。
 今回は感染管理ワーキングの活動について紹介いたします。

区分	名称	目的
委員会	医療安全管理委員会	・医療事故防止、インシデント、アクシデント検討など
	放射線安全管理委員会	・放射線診療上の安全管理、職員の放射線障害防止など
	情報システム委員会	・放射線治療・医療情報システムの確認、課題検討など
	広報委員会	・HIPRAC通信作成、他施設や県民への広報方法検討など
ワーキング	感染管理ワーキング	・医療環境の整備、職員教育・指導など
	診療ワーキング	・業務改善、医療の質・患者サービスの向上など
	QAワーキング	・放射線治療に伴う事故の防止、治療レベルの確保など



各職種スタッフから構成し、看護師が委員長を務めています。
 医療機関特有の感染症予防や、職員の体調管理のための啓発活動などを行っています。

外来通院を基本とするHIPRACでは、季節ごとの感染症対策や患者さん・ご家族の体調管理への配慮は欠かせません。

今年度は、「標準感染予防策（スタンダードプリコーション）」と「食中毒」をテーマに研修会を開催する予定です。

★感染管理ワーキングメンバー★



技師

医師

看護師

物理士